

# 平成 30 年 4 月 東御市教育委員会 定例会会議録

---

## 1 日 時

---

平成 30 年(2018 年)4 月 23 日(月) 午前 8 時 54 分から午前 10 時 35 分まで

## 2 場 所

---

中央公民館 応接室

## 3 議 題

---

### (1)協議(審議・検討)

議案第 21 号 学区外就学申請について

### (2)報告

ア 教育委員会からの各委員委嘱と職員名簿一覧について

(ア)教育課関係

・学校教育・人権同和教育係

・青少年教育係

・文化財係

(イ)生涯学習課関係

・社会教育・公民館係、図書館係

(ウ)職員名簿(学校職員含む)

(エ)東御市教育委員会・学校関係緊急連絡先

イ 平成 29 年度 3 月専決補正予算について

ウ 平成 30 年度県教委基本方針について

エ 教育課

(ア)平成 30 年度東御市教育の具現化に向けた重点 4 項目

(イ)ふれあい教室の活用について

## 4 出席者

---

○教育長 牛山 廣 司

### ○委 員

教育長職務代理者 下 村 征 子

委 員 小 林 経 明

委 員 小 林 利 佳

委 員 直 井 良 一

### ○その他

横関教育次長、柳沢教育課長

小林学校教育係長

小山指導主事、畑田指導主事、若林学校教育係主査

## 会議録

---

横関教育次長

ただいまから、4月定例教育委員会を始めます。教育長から開会宣言をお願いします。

牛山教育長

ただいまから、4月定例教育委員会の開会を宣言します。

4月20日（金）にふれあい教室にてサテライト方式で「ことばの教室」が開設されました。現在2名の児童を対象に、毎週金曜日に近隣市町村小学校から専門の先生をお招きし、活動を開始しました。

先日、東御市手をつなぐ育成会総会に出席した際、今春養護学校を卒業した児童保護者から、在籍していた市内小学校で校長をはじめ、教職員全員からお祝いをしていただいた旨伝えられました。障がいと共生しなければならない境遇にも関わらず、積極的に学校行事に参加するなど一生懸命子育てをしているご家庭であります。学校としても十分に対応してきた結果がこのような感謝として現れています。

(1)協議(審議・検討)

進行:教育長

議案第21号 学区外就学の申請について

牛山教育長

個人情報に関係もありますので非公開とします。よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

<非公開>

牛山教育長

(2)報告 ア 教育委員会からの各委員委嘱と職員名簿一覧について、イ 平成29年度3月専決補正予算について報告願います。

柳沢教育課長

ア、イについて報告します。

(資料説明)

牛山教育長

(2)報告 ウ 平成 30 年度県教委基本方針について報告します。お示した資料は長野県の今後5年間の指針として定めた第3次長野県教育振興基本計画の概要です。本日午後開催される市町村教育委員会説明会議にて詳細が伝えられますが、今後、市としても重点項目として取り入れていくこととなります。

牛山教育長

(2)報告 エ 教育課(ア)平成 30 年度東御市教育の具現化に向けた重点4項目について、報告します。

1. 学力の向上対策としましては、東部中学校区でも、いよいよ本格的に学科職員会の中で取り組みが始まることから、より一層小中一貫型教育の推進を充実させていきたいと考えます。外国語活動については、担任教諭の指導力向上に取り組んでまいります。

2. 心と身体の育成としましては、前年度の体力測定データによると児童生徒の体力低下が見られることから、これまで以上に運動に対する意識を高める必要があります。

3. 多様な教育的ニーズへの支援としましては、いじめ・不登校対策、インクルーシブ教育の実現に向けた「教育支援センター」の設置を検討したいと考えております。

4. 教育環境の整備としましては残り北御牧小、和小、祢津小のトイレ改修工事に向けた準備を、また、働き方改革については市教委が積極的に関わりながら改善を図ってまいります。食の安全確保については前日臨時校長会を開催し、一つ一つの確認作業を丁寧に行うことを再度確認し、万全を期しているところです。

小山指導主事

重点4項目については校長会でも共有しており、いじめ根絶、不登校の未然防止、インクルーシブ教育の推進、先生方の顔が見える関係作りに特に力を入れ、教育大綱を具現化して行きたいと考えます。

小林経明委員

文化・スポーツが市長部局へ移管したことにより、教育大綱の見直しは必要ないのでしょうか。

牛山教育長

市との連携はこれまでどおりですので、必要であれば次期基本計画の見直しの中で検討します。

直井委員

プログラミング教育が始まる中で、小中学校の既存の ICT 設備では心もとないと感じます。

小林経明委員

文部科学省が推奨する基準設備を元にプログラミングがスタートしますが、本市として有識者、学校関係者と方向性を具体的に検討できる組織を作ってみてはどうでしょうか。

畑田指導主事

ICT 機器整備に関わらず、プログラミングは全ての教科で導入されますが、学校現場では情報教育担当教諭部会が導入の切欠を探っています。

小山指導主事

教育委員会事務局だけでなく、学校職員会内の情報教育担当教諭と一緒に導入を検討するべきと考えます。

牛山教育長

プログラミングは中高生が中心となっていきますが、その素地を作るために小学校での教育も大切になってきます。プログラミング導入に向けた検討を関係者全員で共有していく必要があります。

小林経明委員

予算も含め、ICT やプログラミングについてきちんと理解できる人間が最後まで関わるのが重要と考えます。サーバーと無線環境さえあれば、パソコン教室を設置する必要はなくなり、空きスペースとして活用ができます。

小林学校教育係長

検討組織の立ち上げについては、前向きに検討します。

直井委員

北御牧地区から北御牧中学校が使用している旧村営プール老朽化を心配している声があります。調査を早めに行い、場合によっては温泉アクティブセンターのプール利用なども検討の必要があると考えます。

若林学校教育係主査

旧村営プールについては漏水が起こっている箇所がありますが、今夏は何とか使用でき

と見込んでいます。

小林学校教育係長

付随する装置の老朽化、目隠しのない立地的な状況、今後維持していくにも課題が残ります。

牛山教育長

プールのあり方については長寿命化計画の中に位置づけ、市当局や関係機関と協議しながら検討する必要があります。今後の課題とします。

牛山教育長

(2)報告 エ 教育課(イ)ふれあい教室の活用について、報告します。

(資料説明)

小林経明委員

支援している対象者の年齢層はどれくらいですか。

牛山教育長

青少年支援チームは生活困窮家庭を対象に学習支援を行っており、現在 15 歳から 39 歳までの方を対象としています。活動も 5 年目を迎え、支援体制も安定してきましたが、問題を抱える方をいかに把握するかが今後の課題です。

小山教育指導主事

対象者を把握していても、参画してもらえないという課題も抱えています。

小林経明委員

市内に引きこもっている方は推定で 100 名いると言われていたのですが、保護者は大変困っているはずで。

牛山教育長

プライバシーに配慮しながら、口コミを中心に周知を図っています。

小山教育指導主事

困難を抱えている保護者は現状を隠してしまいがちですが、PTA の口コミを通じて支援を広げていきたいと考えています。学校以外で学べる場を提供していますが、最終的には、学校という集団の中で社会性を身に付けて欲しいと願っています。

牛山教育長

教育指導主事には家庭訪問しながら学習を補ってもらっていますが、学習保証の機能として青少年支援チームの役割は大きいものとなります。

本日の議題は以上です。4月定例教育委員会を閉じさせていただきます。